

【学会報告】第76回日蓮宗教学研究発表大会

令和6年11月8日（金）から9日（土）にかけて、第76回日蓮宗教学研究発表大会が身延山大学を会場として行われました。研究発表では、主に日蓮教学・日蓮教団史の研究が中心となり発表がありました。また立正大学長と身延山大学長が日蓮宗教師ということで、両学長による記念講演が開催され、法華経・日蓮聖人に関する現在の研究動向が示されました。



8日の研究発表終了後には授賞式・懇親会を開催。日ごろの研究について意見が交わされ、大変有意義なものとなりました。

今回はコロナ禍以降、本学開催の教学研究発表大会ということでありましたが、滞りなく無事終えることができました。

身延山大学関係者発表題目（発表順）

- ・【記念講演】内陸アジアにおける『法華経』（望月海慧学長）
- ・「日蓮伝記本における日蓮伝承の形成過程」（望月真澄特任教授）
- ・「日蓮聖人における「観心」の特色」（庵谷行亨特任教授）
- ・「日蓮聖人の「酒」の記述について」（丸茂龍正事務局長）
- ・「大田南畝作品にみられる日蓮宗寺院」（木村中一教授）